

「生き抜く力」を育む保小中一貫教育

「もうすぐ、新1年生」



2月5日、4月から日南中学校に入学する日南小学校6年生が「ふれあい教室」に参加しました。朝から中学校へ登

校し、中学校の先生による授業を受けたり、給食と一緒に食べたりしました。6年生は、慣れない中学校の教室で中学校時間での生活に少し戸惑いながら、4月からの中学校生活を少しはイメージできたようです。また、それぞれが希望する部活に分かれて部活動体験を行い、どの部に入るのか参考にしていました。3年間、しっかりと続けられる部活を選んでほしいと思います。

また、2月8日には小学校入学まであと2ヶ月となった年長児さんが「体験入学」を行い、日南

小学校の5年生と交流しました。レクリエーションをしたり、学校の中を案内したりと、4月から最上級生となる5年生は、少しでも学校生活を知ってもらおうと、年長児さんにやさしく、丁寧に教えてあげていました。最初緊張していた年長児さんも、徐々に緊張がほぐれ、笑顔で交流を楽しんでいました。年長児さんは、小学校入学が一段と楽しみになったことでしょう。

今回の「ふれあい教室」・「体験入学」を通して、6年生も年長児さんも、中学生・小学生になるという意識と4月から新しい学校生活への期待感が高まったようです。あと2ヶ月、入学に向



けていろいろな準備をしっかりとしてほしいと思います。入学式で立派な姿が見られることを楽しみにしています。

にちなん子ども応援隊だより No. 70



こんにちは。1月も、定例的なものの他、日南小国語(習字)の学習支援で多くのボランティアの方にお世話になりました。ありがとうございました。

いました。

今回は、3学期恒例となっている「日野郡小中学校書初め競書大会」に向けての強化練習の支援について紹介します。ねらいは、「今までの学習を生かして毛筆で書初めをする」、「自分が書いた書初め作品に自分の名前を丁寧に書く」ことの2つです。

対象は3年から6年までの4学級。諸事情で当初より減りましたが、延べ20人余りのボランティアの方が支援して下さいました。

ボランティアの皆さんが「筆で書く」ことについて生き生きと楽しそうに語られる様子から、

「筆で書くこと」を心から楽しんで取り組んでおられるのが伝わってきました。そして、「子ども時代は柔軟でどんどん上達できること」を話しながら、上達したところや頑張った姿を褒めて下さいました。地域の方からの激励は、嬉しく大きなエネルギーになることと感じました。

ボランティアさんも「子どもの上達は早い。楽しかった」等と話しておられました。

ある子は「まっすぐ筆を持ったらいいよ」と言われたので、実際にしてみたら「上手に書けて嬉しかった」と話していました。

最後にも願いです。これからも、日南小中学校の教育活動支援に力を貸して下さい。

(お問い合わせ先)

コーディネーター携帯 080-5232-7712

